

## 仙人通信 186 高川山(973.5m)

高川山は、大月市西の初狩駅と禾生駅との中央で御坂山塊の東端に位置し、大月市が定めた秀麗富岳 12 景の 11 番目の山でもある。

JR 中央線初狩駅から男坂を登り、山頂から富士急田野倉駅へと下る尾根コースとした。初狩駅前の最初の路地を右に曲がり、線路に沿って進んだ後、線路の下を潜り直ぐに左へと進む。更に自徳寺の墓地の端を登り詰めた後、檜林の中の林道を通るルートだ。分岐点には高川山を示す道標もあり安心だ。山肌に沿って進むと、トイレが整備され 10 台ほど駐車が出来る広場となる。これより道幅が狭まり大きな堰堤を右にみて進むと、駅から丁度 25 分で登山口を示す地点で、沢コースと左側の檜林の中に向う男坂・女坂コースの道標だ。緩やかな九十九折のコースを 10 分程進むと、尾根に沿ってオレンジ色のプラスチック製のネットだ。沢の先からは山の石を砕く砕石場からの機械音が響く。尾根コースとなり、水檜等の落葉樹が対岸に広がり明るくなる。10 分程で尾根を詰める男坂と緩やかなコースの女坂の分岐点である。男坂は、尾根をほぼ真っすぐ登るトラロープが張られたコースだ。枯れたコウヤボウキの穂が薄ピンクに色付き、暖かみを持って迎えてくれ、嬉しさが込み上げた。30 分程で女坂コースと合流し、左手に進むとなだらかな尾根に出る。梢越ではあるが、富士山が右手に見え、初狩駅から丁度 1 時間半で山頂に立つ事ができた。

山頂は方位盤を中心に半径 5m 程と狭いも秀麗富岳 12 景の中で富士山に近く、ほぼ 360°の展望だ。富士山に棚雲があるも、幸いにも正に青天である。富士山から右廻りにアンテナの立つ三つ峠等の御坂の山脈・笹子峠の上には甲斐駒や鳳凰、そして笹子雁の腹摺り山・黒岳・雁の腹摺り山等の大菩薩小金沢の峰々が、権現山・三頭山・生藤山・陣馬山等の東京との県境の山脈が、更に道志山塊の赤鞍ヶ岳・菜畑山・御正体山・二十六夜山・鹿留山が、その奥には西丹沢の大室山・孤吊山等々だ。方位盤を摩りながら未踏の山も含め確認でき、30 分程であったが充実した時間を得た。下りは田野倉駅へ向かう松葉入コースだ。ブナに囲まれた岩がゴロゴロした尾根道である。狼煙台を過ぎ 5 分程で禾生駅への分岐を過ぎ、ロープの張られた尾根を下る。左下には NEC 大月工場が、手前には大月インターだ。右下には九鬼山と高川山を串刺しにしたようにリニアのレールだ。時折顔を出す富士山を眺めながら 50 分程で、お結び山へと繋がる尾根から別れ駅方向に向かう。馬頭観音や弁慶岩を過ぎると杉と檜の林の中だ。削り取られた U 字溝の中のコースを 20 分下ると林道である。30 年程前に訪れた事のある尾県郷土資料館(明治の小学校)を見学しようと立ち寄ったが休館日でガッカリしたも空き地に咲く元気なイヌフグリに力を貰い、田野倉駅に辿り着いた、3 時間 50 分(14000 歩)の山旅でした。

(H31.1. 18)

高川山山頂

富士山

田野倉から高川山

尾県郷土資料館

